



三角形の内心の位置ベクトル

三角形があれば、その内心¹が存在する。よって、三角形の3頂点の位置ベクトルを用いて、内心の位置ベクトルを表すことができる。本稿では、加重重心の結果²を用いて、内心の位置ベクトルの美しい表示を与える。以下では、以下では、 $\sin \angle A$ のことを $\sin A$ と表し、 $\triangle ABC$ の面積もまた、 $\triangle ABC$ で表す。

命題. 3点 $A(\vec{a}), B(\vec{b}), C(\vec{c})$ を頂点とする $\triangle ABC$ の内心を $I(\vec{i})$ とする。このとき、

$$\vec{i} = \frac{(\sin A)\vec{a} + (\sin B)\vec{b} + (\sin C)\vec{c}}{\sin A + \sin B + \sin C} \quad (1)$$

が成り立つ。また、辺 BC, CA, AB の長さをそれぞれ、 a, b, c とすると、これは、

$$\vec{i} = \frac{a\vec{a} + b\vec{b} + c\vec{c}}{a + b + c} \quad (2)$$

と表すこともできる。

証明. 内心 I は、必ず $\triangle ABC$ の内部に存在するので、 $\triangle BIC, \triangle CIA, \triangle AIB$ の面積比を $\alpha : \beta : \gamma$ とすると、加重重心の結果から、内心 I の位置ベクトルは、

$$\vec{i} = \frac{\alpha\vec{a} + \beta\vec{b} + \gamma\vec{c}}{\alpha + \beta + \gamma}$$

と表せる。

まずは、 $\alpha : \beta : \gamma = a : b : c$ であることを示す。辺 BC, CA, AB の長さをそれぞれ、 a, b, c とし、内接円の

半径を r とすると、 $\triangle BIC = \frac{r^2 a}{2}$ が成り立つ。他の小三角形についても同様に考えることで、

$$\alpha : \beta : \gamma = \frac{r^2 a}{2} : \frac{r^2 b}{2} : \frac{r^2 c}{2} = a : b : c$$

が成り立つ。よって、後半の主張 (2) が従う。

前半の主張 (1) を示すには、 $a : b : c = \sin A : \sin B : \sin C$ であることを示せば良い。外接円の半径を R とすると、正弦定理³から

$$\frac{a}{\sin A} = \frac{b}{\sin B} = \frac{c}{\sin C} = 2R$$

が成り立つので、

$$a : b : c = 2R \sin A : 2R \sin B : 2R \sin C = \sin A : \sin B : \sin C$$

が従う。 □

¹ 三角形の3つの内角の二等分線の交点を内心という。内心は、3辺から等距離にあることが知られている。この性質から、内心を中心として、3辺に接する円が描ける。この円を内接円という。

² 加重重心の拡張 <https://gleamath.com/weighted-center02/>

³ 正弦定理 <https://gleamath.com/low-of-sines/>

